

2019年7月吉日

2019年専門学校入学者の進学活動 全国調査結果ご報告

教育内容で選ばれる専門学校 内容を吟味して学校を選び、高い意欲を持って入学

一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会（大阪市都島区／理事長 清水尚道）は、新学期開始前後の3～5月に、『全国専門学校共同入学者調査』を実施いたしました。本調査は専門学校入学者による進学活動の実態把握と、専門学校教育の質の向上並びにより良い進路選択の実現に向けた取り組みに役立てていただくことを目的としています。進路選択や職業教育についての調査研究を行う株式会社応用社会心理学研究所の協力のもと、大阪府専修学校各種学校連合会が企画し、2009年度から実施しています。今年度は全国で61校、11,036名を対象に調査を行いました。

本調査の分析結果は、全国の専門学校入学者の性別および分野別の比率と構成がほぼ同じとなるようサンプルに重みづけ（ウェイトバック集計）処理を行っており、全国の専門学校生の平均的な進学プロセスや入学校に感じていた「専門学校の価値」の水準を知ることができます。

また、昨年度より最新のトレンドが把握できるその年ごとの新項目を追加しています。今年度は進学活動の時期、学校選びや将来の仕事についての考え方を調査しました。

<主な調査結果>

1. 進学先の検討プロセス

- 「大学も検討した」という人が近年増加。
25%（2015年）→30%（2019年）に。 : P.3
- NEW!!** ● 進学活動をはじめる時期は、人によってばらばら。
将来の仕事を考えはじめた時期、
「中学生以前」が5人に1人。一方、「高校3年以降」も4人に1人。 : P.4

2. 専門学校の選び方

- 「広告」で知った学校より、「口コミ」で知った学校に行く人が多い。 : P.6
- NEW!!** ● しっかり内容を吟味して学校を選んでいる人が多い。
87%が「内容を詳しく調べ」、75%が「他校も調べて比較」。 : P.7
- 教育内容を特に高く評価して、学校を選んでいる。 : P.8

3. 専門学校入学者の意識

- 8割が入学した専門学校を高く評価。大きな期待を持って入学している。 : P.9
- 「学び」や「仕事」への意欲が非常に高く、98%が「全力で学びたい」。 : P.10

※「全国専門学校共同入学者調査」では130項目について詳細な調査を行っており、本資料では、その中の一部を紹介しています。
本資料はWEBサイトでも公開しています。⇒ <http://daisenkaku.or.jp>

■調査概要

企画名： 専各連合会特別企画『2019年 全国専門学校共同入学者調査』

企画： 一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会／株式会社 応用社会心理学研究所

調査期間： 2019年3月～5月

調査対象者： 2019年度の全国の専門学校入学者 11,036名（うち有効回答者数 10,160名）
全国の専門学校 61校

調査方法： 調査は無記名で実施し、各学校にて入学前もしくは入学直後の時期に、
オリエンテーションなどを利用して配布・回収

調査内容： 設問項目数130項目

参画校全体データの抽出方法：

専門学校入学者全体の傾向を正確に把握できるように、以下の①～③のデータ処理を行った結果、抽出された6,688名を分析対象にしています。

- ①回答精度が低いなど、分析に適さないサンプルおよび性別が不明のサンプルを除去。
- ②各学校から200サンプルを上限にランダムに抽出し、規模の大きい学校の偏りを是正。
- ③「平成30年度 学校基本調査」（文部科学省）の男女別・分野別入学者比率に合わせてサンプルに重みづけ（ウェイトバック集計）を行い、性別・分野による偏りを是正。

お問い合わせ先（企画事務局）

■企画事務局：一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会

担当：勝間

〒534-0026 大阪市都島区網島町6-20 大阪府私学教育文化会館103号室

TEL：06-6352-0048

FAX：06-6352-7553

mail：info@daisenkaku.or.jp

URL：http://daisenkaku.or.jp

■調査データについて：株式会社 応用社会心理学研究所（アспект）

担当：古谷（ふるや）

〒540-0031 大阪市中央区北浜東1-8 北浜東森田ビル5F

TEL：06-6941-2171

FAX：06-6941-2081

mail：o-senkaku@aspect-net.co.jp

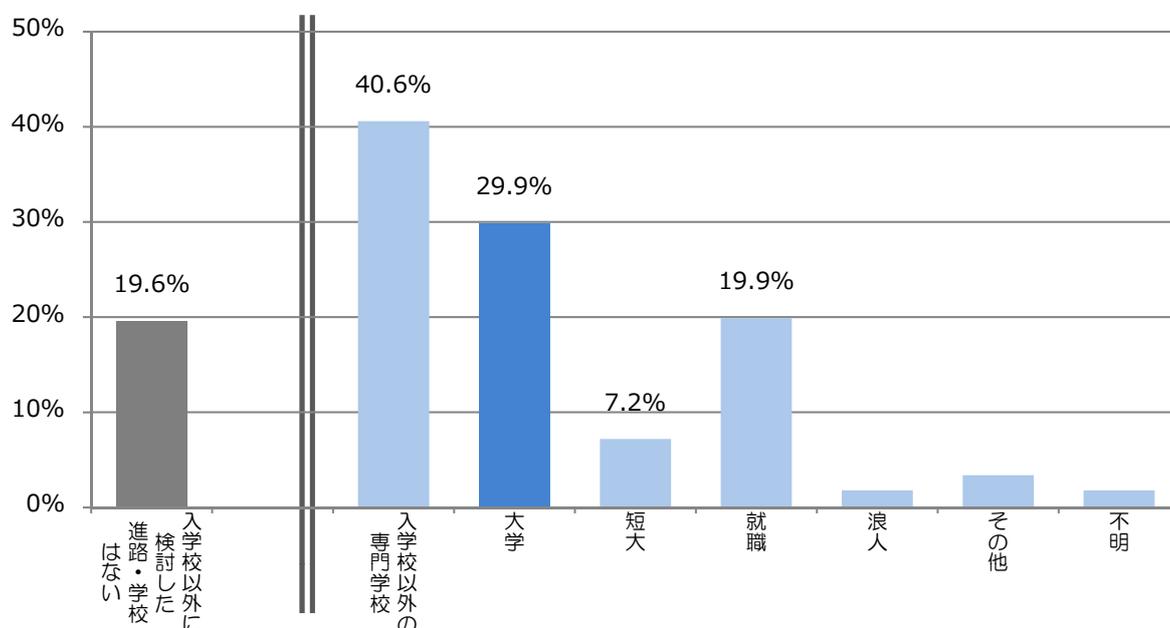
URL：http://www.aspect-net.co.jp

1.進学先の検討プロセス

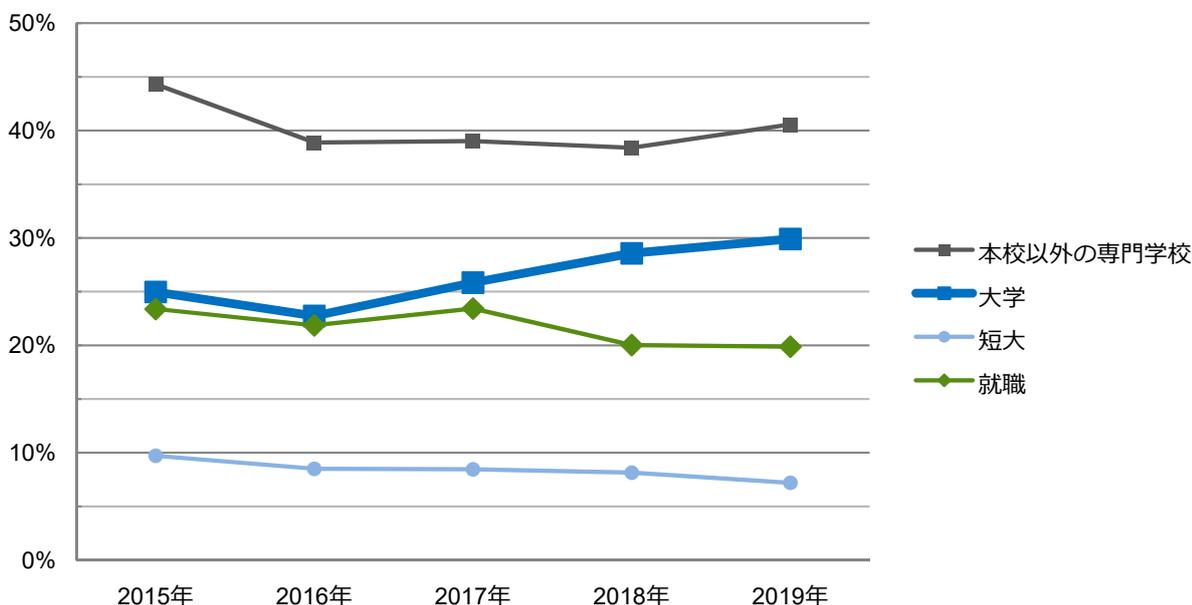
「大学も検討した」という人が近年増加。
 25%（2015年）→30%（2019年）に。

- ・「本校（入学校）以外に検討した進路・学校はない」という人は20%にとどまり、残り8割の入学者は、入学校以外の進路・学校を検討していたことがわかる。
- ・入学校以外に「大学」も検討していた人は30%。
 過去5年間の推移を見ると、「大学も検討した」人は、2015年から5ポイント増加した。

■他に検討していた進路：本校（入学校）以外で検討した進路【複数回答】／2019年



■他に検討していた進路：本校（入学校）以外で検討した進路【複数回答】／2015年～2019年



1.進学先の検討プロセス（高校生）

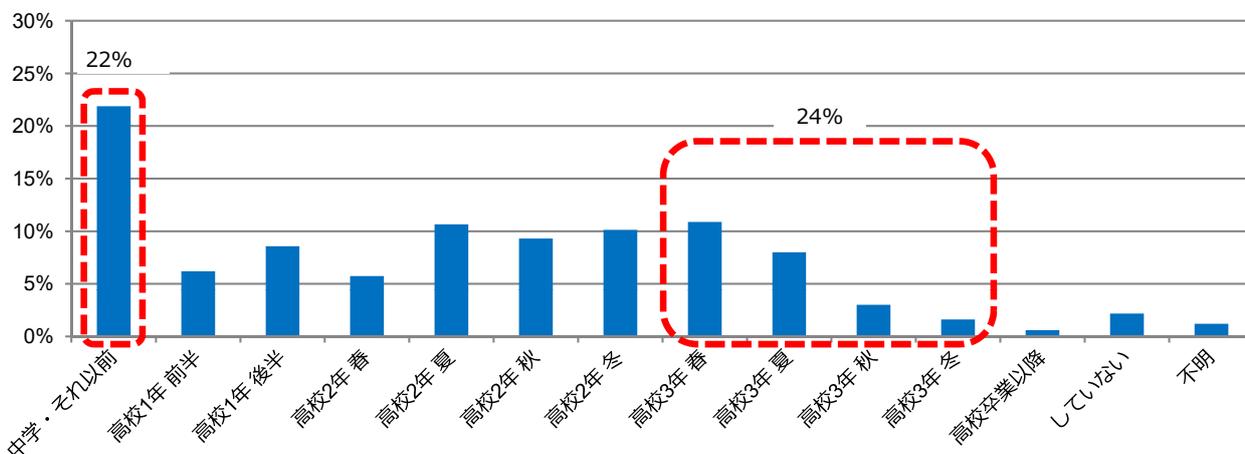
高校生の進学活動

進学活動をはじめめる時期は、人によってばらばら。
 将来の仕事を考えはじめた時期、
 「中学生以前」が5人に1人。一方、「高校3年以降」も4人に1人。

- ・「将来の仕事について、具体的に考えはじめた時期」は、「中学生・それ以前」の人が22%いるが、一方、「高校3年春以降」という人も24%である。
- ・「個別の学校について調べはじめた時期」もばらつきがあり、「高校2年夏」14%、「高校2年冬」14%、「高校3年春」18%である。
- ・「初めて学校を訪問した時期」は、高校生の休暇等を反映し、「高校2年夏」17%、「高校3年春」15%、「高校3年夏」に26%となっている。
- ・募集活動においては、それぞれの検討段階にあわせたガイドや情報提供が必要とされていると言えよう。

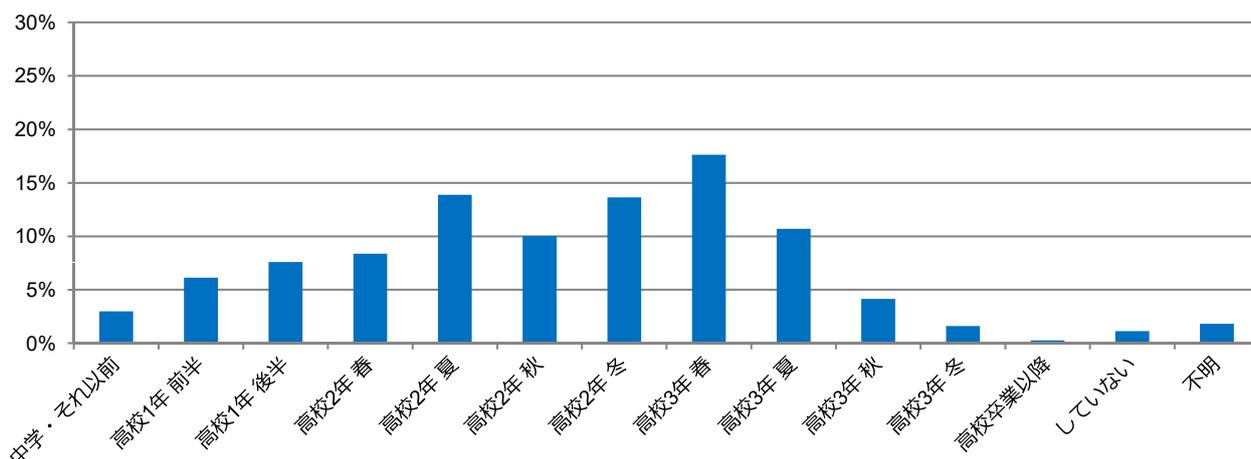
■ 進学活動：将来の仕事について、具体的に考えはじめた時期[単一回答] / 高校生

n=5397



■ 進学活動：個別の学校について、調べはじめた時期 [単一回答] / 高校生

n=5397

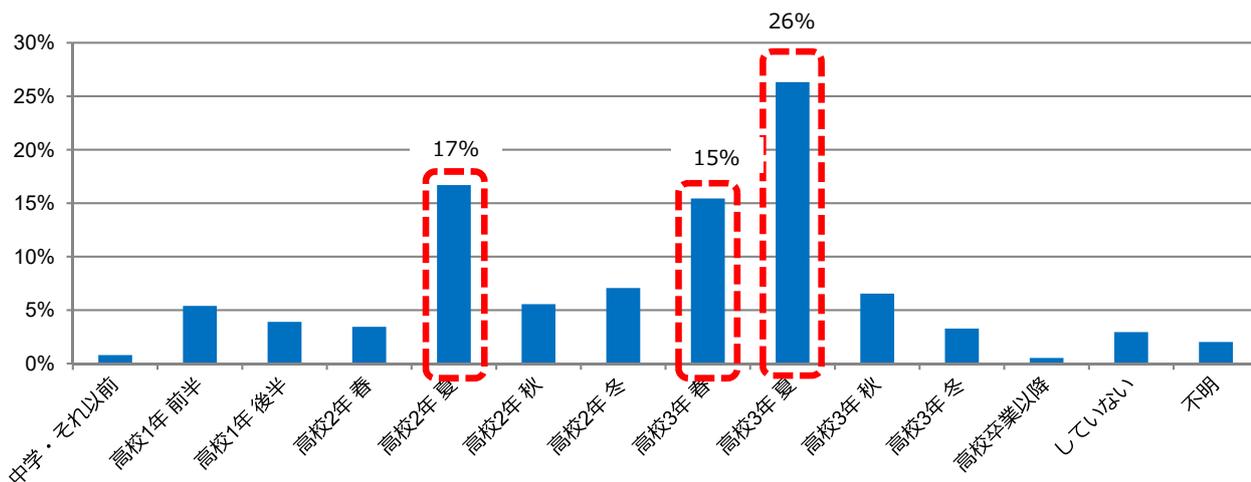


1.進学先の検討プロセス（高校生）

高校生の進学活動

■進学活動：学校に、オープンキャンパスなどで初めて訪問した時期[単一回答]/高校生

n=5397



凡例

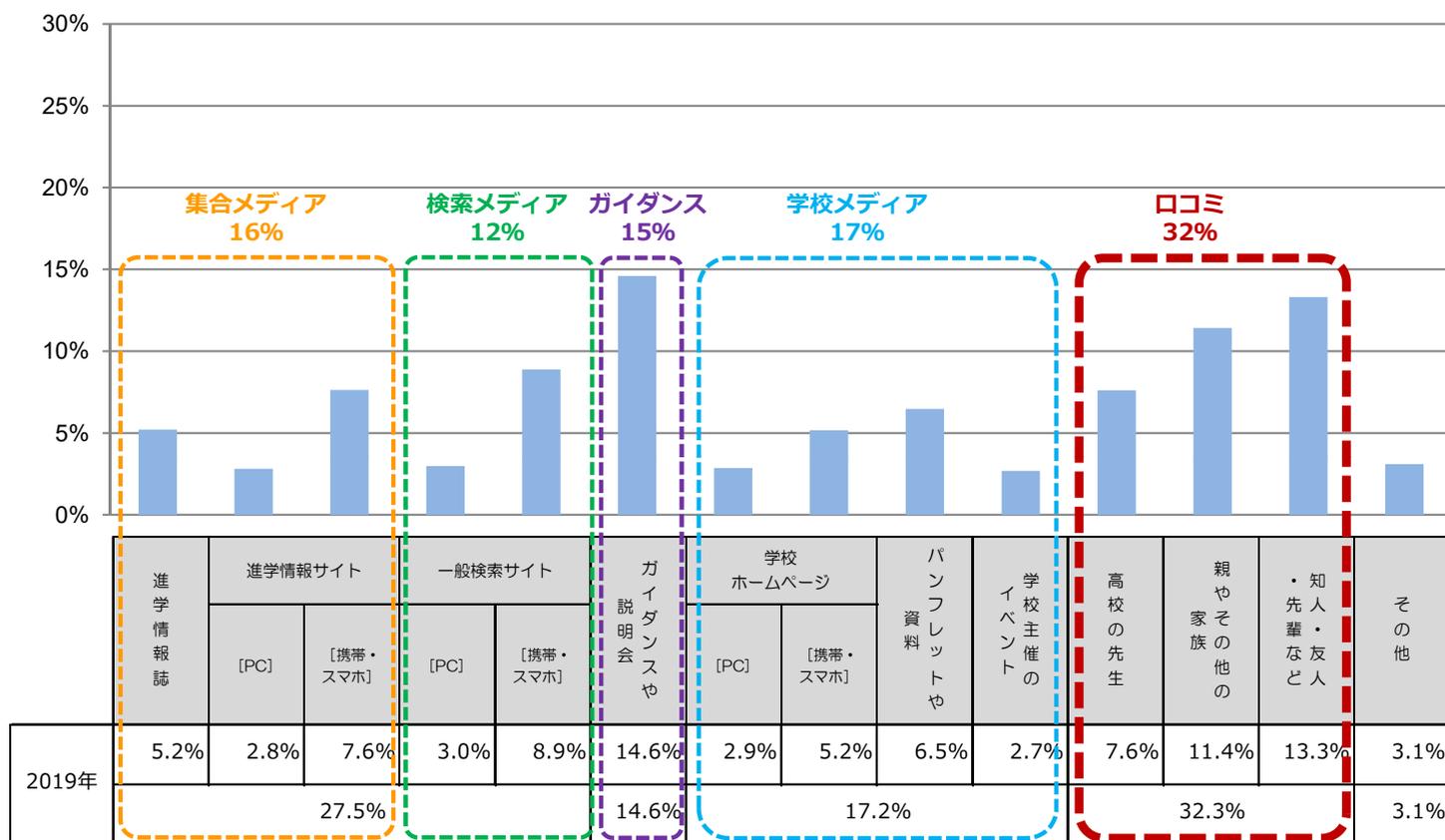
- 高校1年 前半・高校1年 前半 (4~9月)
- 高校1年 後半・高校1年 後半 (10~12月)
- 高校2年 春 ・高校2年 春 (4~6月)
- 高校2年 夏 ・高校2年 夏 (7~9月)
- 高校2年 秋 ・高校2年 秋 (10~12月)
- 高校2年 冬 ・高校2年 冬 (1~3月)
- ：
- 以下同様

2. 専門学校の選び方

「広告」で知った学校より、 「口コミ」で知った学校に行く人が多い。

- ・「入学校のこと（存在や名前）をはじめて知ったきっかけ」は、「高校の先生」「親やその他の家族」「知人・友人・先輩など」の「口コミ」が最も多く、32%を占めている。
- ・次いで「学校メディア」17%、「集合メディア」16%、「ガイダンス」15%となっている。

■メディアの利用状況：本校（入学校）のこと（存在や名前）をはじめて知ったきっかけ [単一回答]



n=6688

※上記グラフには不明分 (5.3%) を表示していません

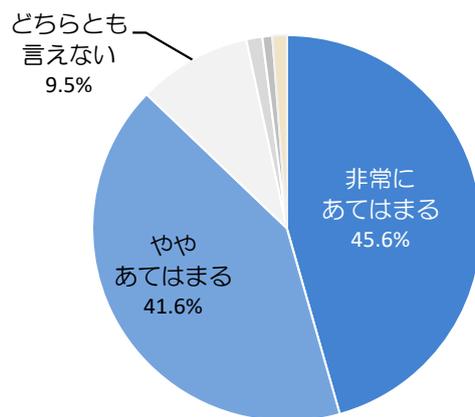
2. 専門学校の選び方

しっかり内容を吟味して学校を選んでいる人が多い。
 87%が「内容を詳しく調べ」、75%が「他校も調べて比較」。

- ・ 学校選びに際して、「教育・学生生活・将来など、学校の内容を詳しく調べた」人は、「非常にあてはまる」「ややあてはまる」を合わせると87%に上る。
- ・ また、「他の学校のこと調べて、比較した」人は、同様に75%となり、学校のことをしっかりと調べ、他の学校とも比較検討した上で進学先を選択している。

■ 学校選び：教育・学生生活・将来など、本校（入学校）の内容を詳しく調べた [単一回答]

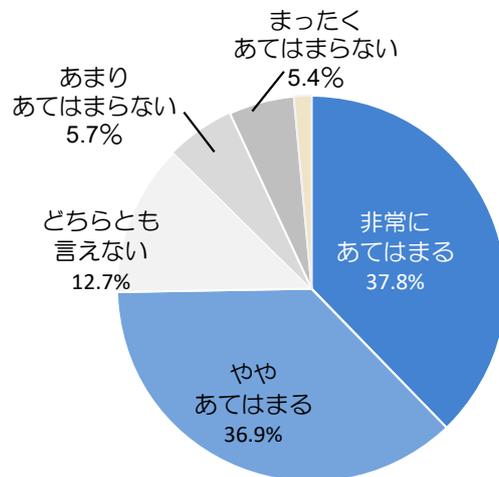
	人数	%
非常にあてはまる	3050	45.6%
ややあてはまる	2781	41.6%
どちらとも言えない	632	9.5%
あまりあてはまらない	90	1.3%
まったくあてはまらない	55	0.8%
不明	80	1.2%
全体	6688	100.0%



※5%未満は非表示

■ 学校選び：（入学校以外に）他の学校のこと調べて、比較した [単一回答]

	人数	%
非常にあてはまる	2528	37.8%
ややあてはまる	2471	36.9%
どちらとも言えない	851	12.7%
あまりあてはまらない	379	5.7%
まったくあてはまらない	363	5.4%
不明	97	1.5%
全体	6688	100.0%

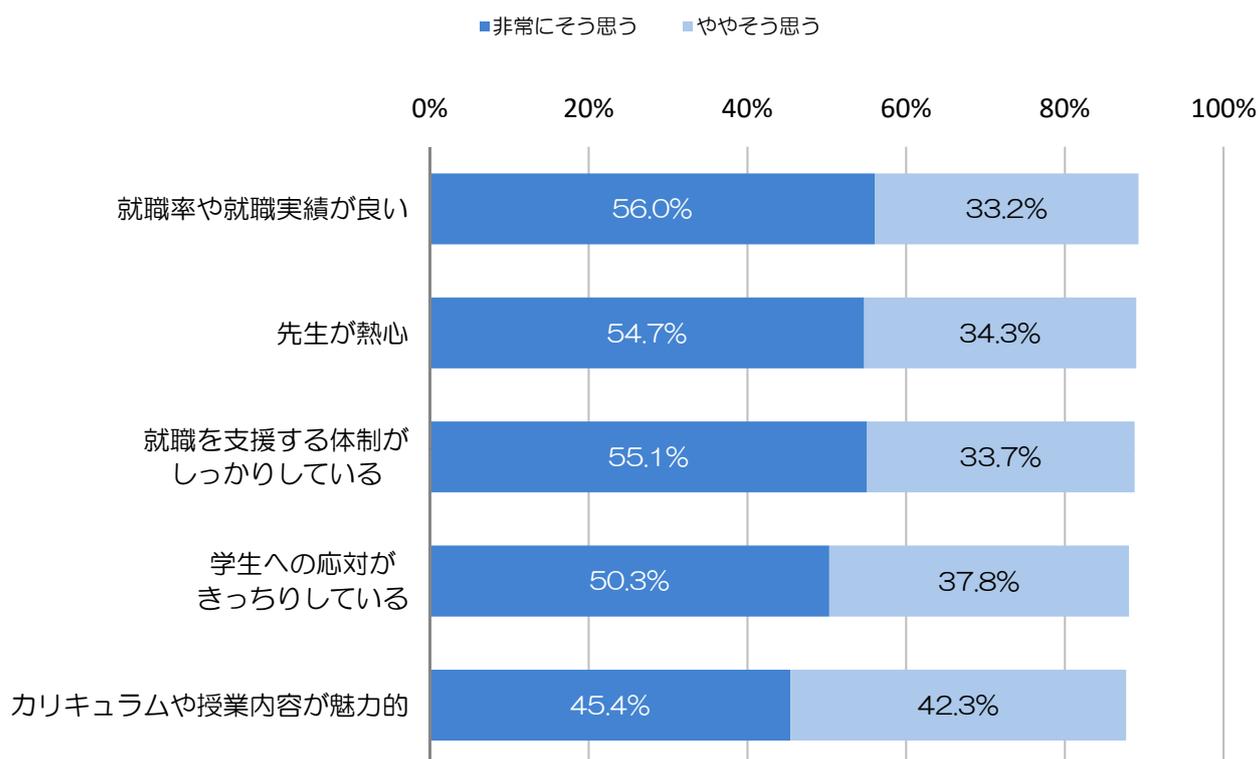


※5%未満は非表示

教育内容を特に高く評価して、学校を選んでいる。

- ・ 入学校に対する個別評価の上位5項目を見ると、「就職実績」「先生の熱心さ」「就職支援」「学生への対応」「カリキュラムや授業内容」の評価が高く、いずれも「非常にそう思う」「ややそう思う」を合わせると、9割近い。
- ・ 「先生」「就職支援」「カリキュラム・授業」など教育内容そのものや、その結果としての「就職実績」を評価して、学校を選んでいると思われる。

■ 入学校評価：個別評価についての上位5項目（全15項目中） [単一回答]



n=6688

※設問は「非常にそう思う」「ややそう思う」「どちらとも言えない」「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」の5段階で回答
 上記グラフは「非常にそう思う」「ややそう思う」の割合のみ表示しています

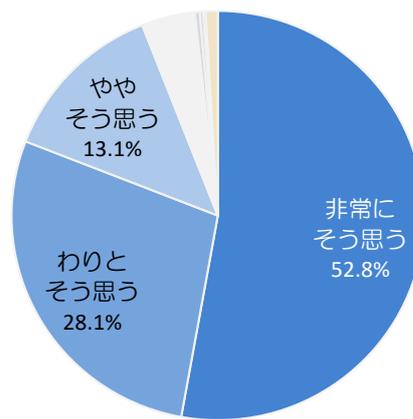
3. 専門学校入学者の意識

8割が入学した専門学校を高く評価。 大きな期待を持って入学している。

- ・「本校（入学校）に、ぜひ入学したいと思っていた」学生は、「非常にそう思う」「わりとそう思う」という積極的な評価を合わせると、81%となっている。
- ・同様に、「総合的に評価して、良い学校だ」と思っていた学生は、「非常にそう思う」「わりとそう思う」という積極的な評価を合わせると80%を占め、大きな期待をもって入学していると言えよう。

■入学校評価：本校（入学校）に、ぜひ入学したいと思っていた【単一回答】

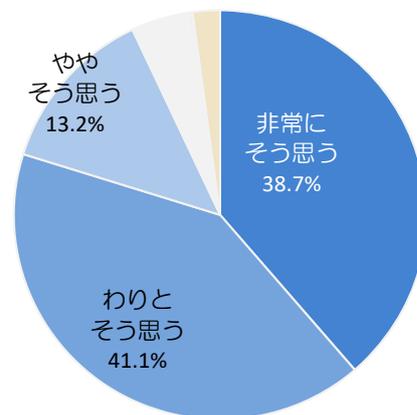
	人数	%
非常にそう思う	3534	52.8%
わりとそう思う	1876	28.1%
ややそう思う	878	13.1%
どちらとも言えない	280	4.2%
ややそう思わない	26	0.4%
あまりそう思わない	19	0.3%
まったくそう思わない	12	0.2%
不明	63	0.9%
全体	6688	100.0%



※5%未満は非表示

■入学校評価：総合的に評価して、良い学校だ【単一回答】

	人数	%
非常にそう思う	2587	38.7%
わりとそう思う	2751	41.1%
ややそう思う	884	13.2%
どちらとも言えない	303	4.5%
ややそう思わない	13	0.2%
あまりそう思わない	8	0.1%
まったくそう思わない	1	0.0%
不明	142	2.1%
全体	6688	100.0%



※5%未満は非表示

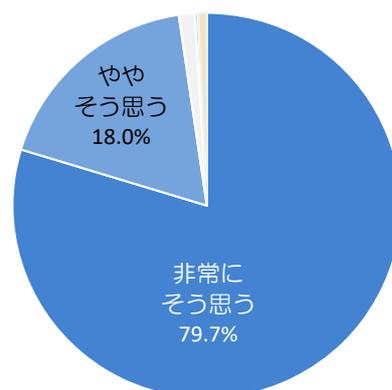
3. 専門学校入学者の意識

「学び」や「仕事」への意欲が非常に高く、 98%が「全力で学びたい」。

- 「本校では全力で学びたい」という設問に対し、「非常にそう思う」と回答した人が8割に上り、「ややそう思う」という人を合わせると、98%に達する。
- また、「他の人より努力して、仕事ができる人になりたい」という設問に対して、「非常にそう思う」と「ややそう思う」という回答を合わせると94%になるなど、専門学校生の意欲の高さが注目される。

■意欲：本校（入学校）では、全力で学びたい【単一回答】

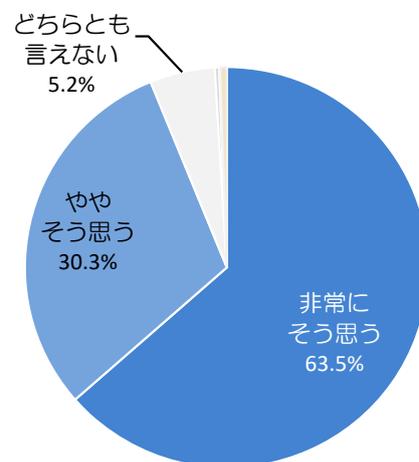
	人数	%
非常にそう思う	5330	79.7%
ややそう思う	1203	18.0%
どちらとも言えない	88	1.3%
あまりそう思わない	19	0.3%
まったくそう思わない	2	0.0%
不明	47	0.7%
全体	6688	100.0%



※5%未満は非表示

■意欲：他の人より努力して、仕事ができる人になりたい【単一回答】

	人数	%
非常にそう思う	4249	63.5%
ややそう思う	2027	30.3%
どちらとも言えない	348	5.2%
あまりそう思わない	23	0.3%
まったくそう思わない	6	0.1%
不明	35	0.5%
全体	6688	100.0%



※5%未満は非表示